

株式会社希望社 社長室

送信者: "新妻ひでき"
宛先: <info@kibousha.co.jp>
送信日時: 2013年7月1日 0:10
件名: アンケート回答
希望社 代表取締役 桑原様

遅くなりましたが、アンケート回答を示します。

Q1

回答 C その他

原発の新規着工を認めず、40年運転制限を厳格適用し、立地地域の経済・雇用などに万全を期しながら、一日でも早く原発ゼロをめざします。

省エネルギー、再生可能エネルギーの普及を進めることで原発依存度を下げていきます。

原発再稼働については、原子力規制委員会が新たに策定する安全基準を満たすことを大前提に、国民の理解を得て判断していきます。

Q2

回答A

デフレ経済が長く続いている我が国においては、経済成長はきわめて重要であります。

そして、成長の効果を雇用の安定や個人所得の増加、そして財政再建に向かわせていきます。

Q3

御社の考え方には全面的には同意できません。

ただ、野放図な経済至上主義は許されるものではないと私も考えております。エネルギー消費三昧の贅沢は見直すような時がきているかとも思います。

有限な地球。「持続可能な開発」が求められている時代です。

経済成長とエネルギー節減を両立する知恵が求められていると思います。

たとえば、低燃費のクルマを開発すれば、エネルギー節約と経済成長を同時に満たすことができるかもしれません。

太陽光、潮流、風力などの自然エネルギー活用も、同様です。

エネルギー節約によりビジネスチャンスが、富が、うまれます。

それゆえ、御社は脱原発(エネルギー節約)と経済成長は両立できないと断じていますが、同意しかねます。

公明党 新妻秀規(比例区候補予定者)

新妻 秀規(にいづま ひでき)

新妻ひでき事務所